

地域コーディネーター、学校支援ボランティア、  
地域連携担当職員、行政関係者 等 49名参加

## パネルディスカッション

### 「地域学校協働活動の推進・充実に向けて

### ～学校と地域の新たなステップ～

コーディネーター 岡山大学 大学院教育学研究科 教授 熊谷 慎之輔 氏  
パネリスト 美作市立美作北小学校 主幹教諭 高本 英樹 氏  
美咲町立旭中学校 教諭 國忠 浩文 氏  
勝央町立勝間田小学校 地域コーディネーター 安東 順子 氏  
西粟倉村教育委員会 主事 白岩 将伍 氏



パネルディスカッションの様子

### 【主な話題】

#### ○地域連携担当職員

- ・ 地域が学校だけでは経験できないことを学ぶ場であるという実感
- ・ 活動のビジョン（意義・目的・方向性等）を地域コーディネーター等、地域側の窓口と共有することが重要
- ・ 地域コーディネーター等への依頼内容を各担任と丁寧に共有するなど、活動充実に向け、担任と学校支援ボランティアをつなぐ役割 等

#### ○地域コーディネーター

- ・ 学校支援ボランティアに「学校の応援団」となってもらうことを意識し、不安にさせない丁寧なコミュニケーション
- ・ より良い活動を目指し、自らも活動に参加し、成果や改善点を探り、地域連携担当教職員と共有 等

#### ○行政関係者

- ・ 地域と学校の連携体制づくりのための、中学校区での地域と学校の情報共有の場の設定
- ・ キャリア教育の視点に立ち、地域の様々な人材に活動への協力を呼掛け



高本英樹 氏

國忠浩文 氏

安東順子 氏

白岩将伍 氏

## 講演

### 「学校と地域の連携・協働体制の充実に向けて」

岡山大学 大学院教育学研究科 教授 熊谷 慎之輔 氏

#### ○なぜ、「協働」なのか

- ・ 「異質な集団で交流する力」を重視
- ・ 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、「地域の人とともに、カリキュラムをデザインしていく」ことが重要

#### ○協働の仕組みに必要なこと

- ・ 4つの鍵概念 「話し合いのための共通のテーブルの必要性」  
「情報共有」  
「共通目的の設定（課題意識）」  
「組織相互の力量向上」
- ・ 違った考えや価値観で取り組むからこそ、学校と地域が単独ではなしえなかった地域学校協働活動が可能に



講演の様子

## 情報交換

### 【主な話題】

- ・ 地域と学校が共通のテーブルにつき、活動の方向性について話し合うことの大切さ
- ・ 地域も学校も負担感が少なく活動を続ける工夫の必要性
- ・ 「学校に負担なく、地域コーディネーター・学校支援ボランティアに不安なく」活動を継続するための体制づくりが重要



情報交換の様子